

INDEX =====

**★GCNJ からのお知らせ★**

○GCNJ 会員数最新情報(2016 年 2 月 29 日時点)

○【ご報告】人道支援サミットへ向けた勉強会(第 2 回)実施(1 月 28 日)

○【ご報告】ラーニングフォーラム in 関西 開催(2 月 19 日)

○【ご報告】GCAN-J 設立セミナー 開催(2 月 9 日・2 月 23 日)

○【ご報告】JANIC・GCNJ 共催 シンポジウム「SDGs でソーシャルイノベーションを」～マルチ・ステークホルダーで実現する持続可能な社会～ 開催(2 月 24 日)

○【ご報告】GCNJ ウェブサイト更新

**★国連 GC の最近の動き★**

○世界の会員数最新情報(2016 年 1 月 31 日時点)

○若者のためのディーセント・ジョブに関するグローバルなイニシアティブ

**★GCNJ からのお知らせ★**

○GCNJ 会員数最新情報(2016 年 2 月 29 日時点)

GCNJ 会員数 211 企業および団体(休会除く)

\* 新規会員: サントリーホールディングス(2/5 付)、日本生命保険(2/5 付)

アソシエイト会員 8 企業

○【ご報告】人道支援サミットへ向けた勉強会(第 2 回)実施(1 月 28 日)

1 月 28 日(木)にジャパン・プラットフォーム(JPF)様との共催で人道支援に関する NGO との勉強会の第 2 回を開催しました。今回は GCNJ 会員 11 名(+GCNJ 事務局 3 名)、NGO15 名(+JPF4 名)、また外務省から 2 名の方に参加いただきました。第 1 回に引き続き、今回も前半で外務省と NGO の方 2 名に人道支援の現場の状況・取り組みについてお話しいただき、後半の時間で企業・NGO がミックスした小グループでの意見交換を行い、活発な意見交換がなされました。

○【ご報告】ラーニングフォーラム in 関西 開催(2 月 19 日)

2 月 19 日(金)、今年も大阪ガス様の会場ホールをご提供いただき、「ラーニングフォーラム in 関西」を開催しました。今回は冒頭で関西分科会メンバーの HORIBA の富嶋氏にご挨拶をいただき、基調講演には、元環境省で現在 IGES(地球環境戦略研究機関)参与の平石氏に、昨年 12 月の COP21、パリ協定を受けて「IPCC と Post-COP21」をテーマにしたご講演をいただきました。その後ハーバード大学のジェフリー・サックス教授から GCNJ へのビデオメッセージの上映、GCNJ 事務局より SDGs に関する会員アンケートの結果報告、そして関西分科会と環境経営分科会から分科会活動報告をいただき、最後に組織拡大委員長からご挨拶をいただきました。基調講演では以前平石氏が所属されていた IPCC(気候変動に関する政府間パネル)の体制や取り組みについて、また気候変動を取り巻く世界の動き、特にパリ協定に関するお話しを最前線のお立場からお話しいただき、参加された皆様は得るものが大きかったのではないかと思います。ご協力をいただきました大阪ガス様、ご

登壇者の皆様、サポートメンバーの皆様、そしてご参加いただきました皆様、誠にありがとうございました。

○【ご報告】J-GCAN 設立記念セミナー 開催(2月9日・2月23日)

GCNJ に加入されている大学の研究者を中心に研究者個人と GCNJ 加入企業の協働を目指したプラットフォームとして日本グローバルコンパクトアカデミアネットワーク(J-GCAN)が動き出しました。発起人の同志社大学飯塚教授、ICU 毛利教授を中心に2月9日プレローンチセミナーでは、有馬代表理事、国連 GC 特別顧問のマッキントッシュ教授、会員企業(オムロン様、武田薬品工業様、デロイトトーマツ様、大和総研様、アマタ様)等のご登壇を得て SDGs やパリ協定についてとても興味深い議論が行われました。2月23日の設立記念セミナーでは、マッキントッシュ教授に加え、総合地球環境学研究所阿部教授、アムネスティ若林事務局長の他、会員企業からは住友化学様等にご登壇いただき、J-GCAN のあるべき姿についてこちらも大変今後の参考になる議論が展開されました。そして会の最後に会則案についての意見交換が行われて、無事 J-GCAN が発足したことをここにご報告させていただきます。

○【ご報告】JANIC・GCNJ 共催 シンポジウム「SDGs でソーシャルイノベーションを」～マルチ・ステークホルダーで実現する持続可能な社会～ 開催(2月24日)

2月24日(水)に JANIC・GCNJ 共催 シンポジウム「SDGs でソーシャルイノベーションを」～マルチ・ステークホルダーで実現する持続可能な社会～を開催しました。第一部では、GCNJ 八尋事務局長による GCNJ の活動紹介、NGO と企業の連携推進ネットワーク(連携ネット)の山本氏による連携ネットの活動紹介が行われました。続く第2部では基調講演として東京大学 国際高等研究所(UTIAS)、サステナビリティ学連携研究機構(IR3S)機構長・教授で GCNJ 理事でもある武内和彦氏により「持続可能な開発目標(SDGs)-地球的な課題の解決と多様なステークホルダーの役割-」と題したご講演をいただきました。武内氏からは SDGs 採択に至るまでの背景を整理立ててお話しいただいたほか、企業にとっての SDGs の重要性や日本における今後の課題などについてもお話しいただき、2030年へ向けて政府、企業、NGO 等がどのように SDGs に対し取り組んでいくべきかについて様々な示唆をいただきました。第3部では、SDGs への取組み事例発表として企業、NGO それぞれの立場からご発表をいただきました。企業サイドとしては、キリンホールディングス株式会社の森田裕之氏より「SDGs に向けたキリングループの CSV 取組みについて」をテーマにご発表をいただきました。森田氏よりはキリングループがめざす CSV、SDGs とキリンの関連についてご説明いただいたほか、SDGs に関わる取組み事例や NGO/NPO との取組み事例などもご紹介いただきました。続いて NGO サイドからはセーブ・ザ・チルドレン・ジャパンの堀江由美子氏より「SDGs でソーシャルイノベーション:NGO はどう取り組む?」をテーマにご発表をいただきました。堀江氏よりはセーブ・ザ・チルドレンの SDGs プロセスへの関与や特に重視してきた目標・ターゲット・原則についてお話しいただいたほか、SDGs 時代の企業との連携において NGO に求められること、NGO と企業・政府などアクター間で連携をして SDGs の実施に取り組んでいくなかで求められることやセーブ・ザ・チルドレンの様々な活動事例などについてご発表いただきました。第4部では、ファシリテーターに CSO ネットワーク事務局長・理事の黒田かをり氏をお迎えし、第3部で事例発表をいただいた森田氏、堀江氏に加え、消費者の立場からサステナビリティ消費者会議代表の古谷由紀子氏をパネリストに「SDGs でソーシャルイノベーションを」をテーマにパネルディスカッションを行いました。SDGs の達成期限である 2030 年に向けて、各セクターがどのように連携・協働できるか、ともに取り組んでいくために必要なことや課題がどこにあるか、など企業、NGO、消費者とそれぞれの立場からの意見が交わされました。会場からも企業、NGO、学生と様々な立場の参加者の方よりの質問の声

挙げられました。SDGs達成に向けて、それぞれの立場で何かできるか、どのような連携をしていくことが必要か、を考える貴重な機会となりました。GCNJ では引き続き様々なセクターと連携し、SDGsの実施に向けた取り組みを推進していきます。

○【ご報告】GCNJ ウェブサイト更新

GCNJ ウェブサイトの下記ページを更新しました。

\* GCNJ 活動と成果報告ページの[シンポジウム](#)のページに [2015 年度開催分レビュー](#)を追加

=====

★国連 GC の最近の動き★

○世界の会員数最新情報(2016年1月31日時点)

・Business sector 8,440(新規 103 社)

・Non-Business sector 4,970(新規 33 団体)

○若者のためのディーセント・ジョブに関するグローバルなイニシアティブ

2月1日に開催された2016 ECOSOC ユース・フォーラムにおいて、若者のためのディーセント・ジョブに関するグローバルなイニシアティブが導入されました。これは政府、国連、ビジネス、アカデミア、若者団体のユニークなパートナーシップとして若者がディーセント・ジョブを得られるようなアクションを拡大するものです。詳細は[こちら](#)。

=====

著者：(社)グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン 事務局

編集：(社)グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン 事務局

【お問合せ先】

(社)グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン

TEL:03-5412-7235 FAX:03-5412-5931 Email:gcjnoffice@ungcjin.net

©2016 Global Compact Network Japan all rights reserved.